

案件概要書

2017 年 10 月 31 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ザンビア共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：コッパーベルト州（人口約 248 万人）
- (3) 案件名：コッパーベルト州病院整備計画 (The Project for Upgrading Health Centres to Level 1 Hospitals in Copperbelt Province)
- (4) 事業の要約：本計画は、コッパーベルト州において、ヘルスセンター2箇所を一次レベル病院へアップグレードすることにより、コッパーベルト州の保健サービス向上を図り、コッパーベルト州の住民の健康増進に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ザンビアは、南部アフリカ地域における政治的安定と民主主義を維持しており、我が国とザンビアは、1964 年のザンビア独立以降、友好国としての関係を維持してきている。ザンビアは、世界有数の銅産出国として我が国にとっても潜在的に重要な資源供給国である。ザンビアを支援し、経済社会開発を促進することは、同国のみならず、南部アフリカ地域の安定と繁栄並びに民主主義の定着にも貢献する。2017 年 1 月に官民インフラ会議がザンビアにおいて開催され、日本企業 19 社が同会議に参加し、同年 6 月には東京でザンビア投資セミナーが開催されるなど、日本企業の間でザンビアのインフラ分野支援に対する関心が高まっていることから、本計画を実施することで、我が国との経済関係の強化が期待されるため、外交的意義は高い。

本計画は、銅産業を主要産業の一つとするザンビアにおいて、銅産業の中心であり人口増加の著しい国内第 2、第 3 の都市であるキトウェ市及びンドラ市のあるコッパーベルト州におけるヘルスセンターのうち 2 箇所の機能を強化するものである。住民の多くが日常的に利用する施設を建設する事業であることから、一般層に向けたビジビリティが期待される。また、本計画に対する先方政府からの期待は大きく、同期待に応えることで本計画によって二国間関係の更なる強化が期待できる。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ザンビアにおける保健セクターの状況は、乳児死亡率 21.4（出生 1,000 対、2015 年）、5 歳未満児死亡率 64（出生 1,000 対、2015 年）、妊産婦死亡率 224（出生 10 万対、2015 年）であり、保健指標の改善が課題となっている。同政府は「第 7 次国家開発計画 2017-2022」において、健康で生産性の高い人材づくりに貢献するため、保健サービスの強化とアクセスの向上を通じ、上述の保健指標を改善していくこととしている。

同国の国家保健戦略（National Health Strategic Plan 2017-2022）ではプライマリヘルスケアに重点が置かれ、コミュニティレベルのヘルスセンターから簡単な手術や帝王切開の提供を担う一次レベル病院までの基礎的保健サービス提供に係るリフ

アラルシステムの整備が主要な取り組みの一つとなっている。同国では、一次レベル病院は人口 8 万～20 万人に 1 箇所が設置基準とされているが、急速に人口増が進む都市部においては、一次レベル病院数が絶対的に不足しており、本来高度な専門治療の提供を担う二次、三次レベル病院が基礎的保健サービスの提供に対応せざるを得ない状況におかれている。首都ルサカ市（人口約 210 万人）では、JICA による協力を含め一次レベル病院の整備を進めているが、国内第 2、第 3 の都市であるキトウェ市（人口約 69 万人）及びンドラ市（約 55 万人）は、ヘルスセンターは約 30 箇所ずつ、三次レベル病院はキトウェ市に 1 箇所、ンドラ市に 2 箇所あるものの、一次及び二次レベルの公的医療機関が存在しない。両市は銅産地を抱えるため人口が年間 2～3%ずつ増加しており、各市に 1 箇所ずつ一次レベル病院を整備することは、極めて重要。

キトウェ市及びンドラ市が位置するコッパーベルト州において 2 箇所のヘルスセンターを一次レベル病院へアップグレードする本計画は、第 7 次国家開発計画で掲げられた「質の確保された保健サービスへのアクセス」を実現するための具体的な施策と位置付けられている。

(3) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本計画の位置付け

我が国は、対ザンビア共和国国別援助方針（2014 年 6 月）における重点分野の一つである「持続的な経済成長を支える社会基盤の整備」の中で、保健サービスへのアクセス改善に取り組むこととしている。また、JICA は、ザンビア共和国に関する国別分析ペーパー（2012 年 3 月）において「保健投資計画に基づいた医療施設・機材の供給と持続的な運用管理」を重点課題であると分析している。本計画は、これらの方針・分析と合致している。

(4) 他の援助機関の対応

EU の資金により UNICEF が両市の主要ヘルスセンターにおいて産科棟の改修、増改築及び機材提供を行っている。また、USAID も NGO を通じて ART（エイズ治療）にかかる医薬品保管室、臨床検査室及び検査機材整備を支援している。

(5) 本計画を実施する開発政策上の意義

本計画は、住民の基礎的医療サービスへのアクセス向上を通じて、ユニバーサルヘルスカバレッジの実現に資するとともに、持続可能な開発目標（SDGs）ゴール 3 の健康な生活の確保にも貢献する。また、TICAD VI ナイロビ宣言において我が国が表明した質の高い生活のための強靱な保健システム強化にも資することから、無償資金協力にて本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的：本計画は、コッパーベルト州において、ヘルスセンター 2 箇所を一次レベル病院へアップグレードすることにより、コッパーベルト州の保健サービス向上を図り、コッパーベルト州の住民の健康増進に寄与するもの。

② 事業内容

ア) 施設、機材等の内容：詳細は協力準備調査により確認する。

【施設】ヘルスセンター 2 箇所の施設改修・増設（手術室、外来棟、入院病棟など）

【機材】医療機材整備等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計，施工・調達監理，機材操作・維持管理に係る研修等（詳細は協力準備調査により確認）。

ウ) 調達・施工方法：協力準備調査により確認する。

- ③ 他の JICA 事業との関係：技術協力プロジェクト「保健施設センサスに基づく保健投資計画能力強化プロジェクト」（2016 年－2018 年）の成果として国家保健投資計画が策定され，それに基づき保健施設や機材の整備等に関する予算配分等が行われる。また，医療機材管理・保守能力強化のための課題別研修に加え，無償資金協力「ルサカ郡病院整備計画」（第一次 2016 年完工，第二次 2020 年完工予定）で整備した 5 箇所的一次レベル病院の施設維持管理研修が本計画においても適用できる。

(2) 事業実施体制

- ① 事業実施機関／実施体制：保健省計画局（Department of Policy Planning, Ministry of Health）
- ② 他機関との連携・役割分担：特になし
- ③ 運営／維持管理体制：キトウェ郡及びンドラ郡の各保健局が一次レベル病院の運営・維持管理を担う。詳細は協力準備調査により確認する。

(3) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI
- ② カテゴリ分類の根拠：本計画は，「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上，環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項

貧困削減効果等について協力準備調査で確認する。

(5) ジェンダー分類

ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項

特になし

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

ケニア共和国の無償資金協力「西部地域県病院整備計画」（2011 年）の事後評価等においては，施設・機材が整備されることにより，近隣地域からの受診を希望する患者が大幅に増えることから，人員増加がない場合，結果的に一人当たりの業務量が増え，医療サービスの質にも影響を与える恐れがある点を指摘している。

本計画においても，医療施設・機材の拡充に伴い同様の課題が生じ得ることを想定し，施設建設を行う前の段階から，施設増強に伴い必要とされる医療従事者が確保・配置されるよう，保健省及び必要に応じて財務省と十分に協議を行う。

以 上

〔別添資料〕地図

コッパーベルト州病院整備計画 地図

